



夏の灼熱RUNNING

夏の灼熱舟券



灼熱の夏がやってきた。今年は東京都心で5月に真夏日（最高気温30℃以上）を12日記録するなど、夏本番を迎える前から夏モード全開になっている。夏は他の季節とはまるで違うレース傾向を示す。それをしっかり把握すれば、この暑さを武器に戦えるはずだ。





日本の夏は どうしてしまったのか 夏の常識の変化に対応せよ!

表1 8月の平均気温の推移(2005年～2024年・観測地：東京)

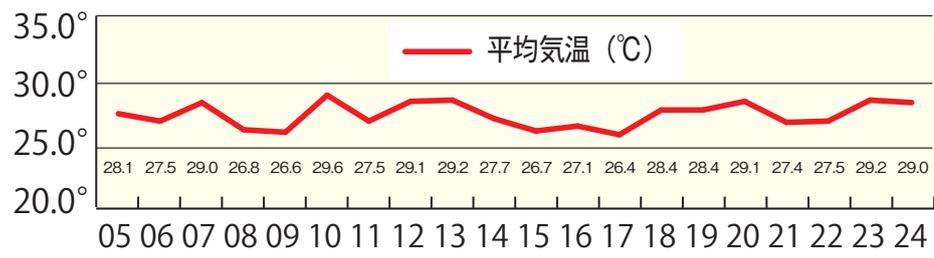


表2 8月の平均風速の推移(2005年～2024年・観測地：東京)

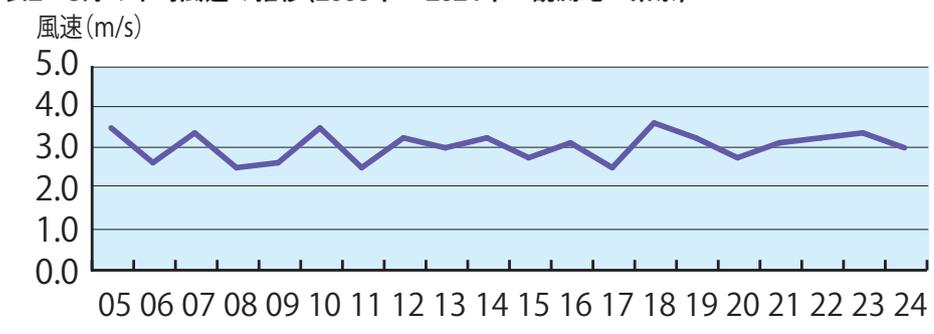
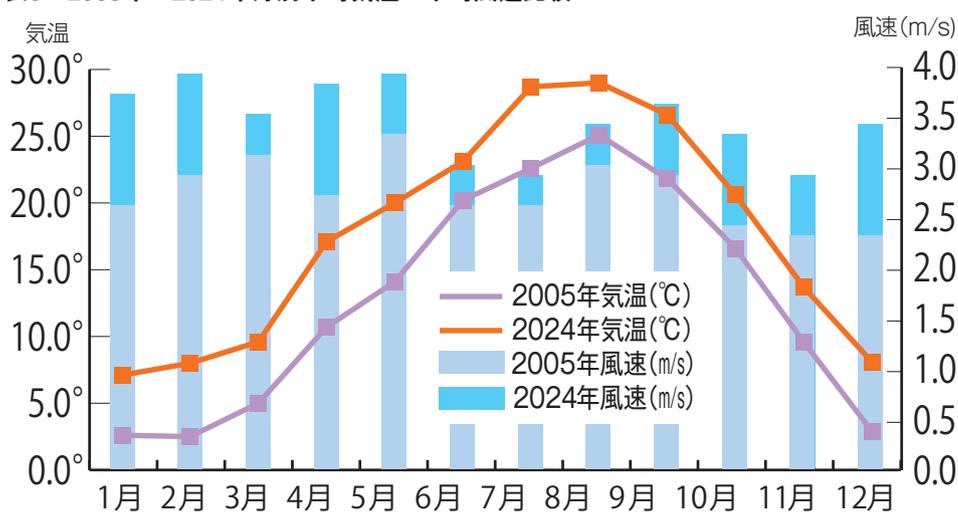


表3 2005年・2024年月別平均気温・平均風速比較



**20年前より月別平均
5°C以上高い**

舟券の話をする前に、この20年ほどの日本の夏について変化をまとめていこう。表1は8月の平均気温の変遷だ。横ばいに見えるが、20年かけてじわじわ上がっており、特にここ5年は平均気温が30°Cに迫るほど高温が続く傾向にある。最高気温は突発的に高い年も

あったが、こちらも近年は33°C超えが当たり前の状況だ。続いて表2の風速について。データ上ではほとんど変化がなかった。しかし、実際のレースに関しては近年風が強く吹く日が増えている。春や初冬は風が強く、夏場は穏やかな日が多い。台風などが来ない限り、夏は風がほとんど吹かないのが常識だった。しかし、昨年の夏(7月～9月)

は全国で5m以上吹いたレースが2000レース以上あった。5年前だとその数は1400レース程度なので、風が強くなった印象は外れていないように思う。そして表3は05年と24年の各月における気温と風の比較だ。特に気温はほとんどの月で5°C以上高い。地球温暖化もここまでできたかという感じだ。

夏の灼熱舟券

**32度を超えたら傾向一変
風も加われば
穴党大チャンス**

表4 全国気温別成績(24/6/1 ~ 25/5/30)

気温(°C)	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
11-13	55.0%	14.5%	12.7%	10.3%	6.2%	1.9%
14-16	56.0%	12.9%	12.2%	11.3%	6.0%	2.4%
17-19	55.8%	13.2%	13.2%	10.2%	6.1%	2.0%
20-22	55.7%	14.6%	12.2%	10.8%	5.5%	1.8%
23-25	55.4%	14.3%	12.6%	10.5%	6.3%	1.5%
26-28	55.4%	13.3%	13.1%	10.7%	6.1%	2.1%
29-31	55.5%	13.2%	12.3%	11.4%	6.4%	1.7%
32-34	52.6%	14.5%	11.7%	11.9%	7.5%	2.4%
35-37	50.9%	17.4%	15.4%	9.0%	6.5%	1.6%

表5 全国風速別成績(24/6/1 ~ 25/5/30)

風(m/s)	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
無風	57.2%	13.8%	12.4%	10.0%	5.4%	1.7%
1-2	58.6%	13.2%	11.9%	9.8%	5.4%	1.8%
3-4	54.0%	13.9%	12.7%	11.1%	6.8%	2.0%
5-6	52.2%	14.2%	13.9%	11.3%	6.9%	2.1%
7m以上	49.0%	16.5%	14.1%	12.4%	6.0%	2.7%

35°C超は2・3コースで勝負
 ではここから夏舟券の傾向を探
 っていこう。前提として、「夏は
 モーターパワーが落ちる」。これ
 は気温が上がることで空気の密度
 が下がり、モーターの燃焼効率が
 落ちるから。冬場に比べて上がり
 タイムが格段に悪くなるのは、ス
 ピードクイーンメモリアルの選考
 でも証明された。
 一般的なセオリーとしては、夏
 は出足が重くなるので、「イン信
 頼度が下がり、ダッシュ優勢」と

言われてきた。それは本当だろう
 か。その答えが表4にある。
 32°Cを境にイン信頼度はガクン
 と下がる。31°Cまで判で押したよ
 うに55%前後で揃っていることも
 驚きではあるが、32°Cを超えると
 それが崩れ、52・6%になる。さ
 らに気温が上昇し、35°C以上にな
 るとイン1着率は50・9%まで下
 がる。
 ではその下がった分、どこが上
 がるのか。32〜34°Cではややダッ
 シュの1着率が上がっている。4
 〜6コース、いずれも他の気温帯

と比較して最高の数値になってい
 る。
 しかしそれが35°C以上になると
 ダッシュ勢は軒並み数字を落と
 す。そして2・3コースが一気に
 台頭する。暑くなりすぎると出足
 も落ちるが、実はそれ以上に伸び
 も落ちるのだ。そこでイン以外の
 スローの出番が増える形となる。
 これに表5の風を掛け合わせる
 と、さらにインの外し頃が見えて
 くる。気温が高く、風が強く吹く
 状況であれば、迷わず2・3コー
 スから攻めたい。





淡水場はイン信頼度ダウン 海水場はアップする傾向

表6 場別コース別季節別1着率比較(イースタンエリア)

場名	年間1着率(24/6/1 ~ 25/5/30)						夏季1着率(24/7/1 ~ 9/30)					
	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
桐生	51.8%	12.5%	13.2%	13.4%	7.1%	2.1%	53.1%	13.6%	11.9%	14.2%	4.5%	2.6%
戸田	43.3%	17.6%	15.0%	14.6%	6.8%	2.6%	44.4%	18.9%	11.7%	16.4%	6.0%	2.5%
江戸川	49.4%	17.4%	14.0%	11.4%	5.7%	2.5%	51.1%	18.2%	11.4%	11.7%	5.8%	2.2%
平和島	44.0%	17.1%	14.9%	12.7%	8.3%	3.2%	41.0%	20.0%	14.6%	13.7%	7.3%	3.5%
多摩川	53.6%	14.8%	12.7%	10.6%	6.6%	1.5%	50.1%	14.2%	12.4%	13.7%	8.1%	1.4%
浜名湖	52.4%	13.6%	14.3%	10.7%	7.5%	1.5%	49.5%	13.1%	15.1%	11.4%	8.6%	2.1%
蒲郡	58.1%	11.2%	12.3%	11.2%	5.1%	2.1%	58.8%	9.7%	12.7%	11.3%	5.7%	1.8%
常滑	58.9%	11.5%	10.4%	11.3%	5.8%	2.1%	61.2%	10.1%	9.8%	11.9%	5.5%	1.2%
津	56.5%	12.5%	12.4%	10.3%	6.5%	1.8%	51.6%	12.1%	14.3%	12.7%	7.7%	1.6%
三国	53.4%	16.6%	13.5%	10.2%	5.2%	1.1%	53.8%	16.4%	12.2%	10.3%	6.1%	1.1%
びわこ	54.4%	13.6%	13.5%	9.9%	6.7%	1.8%	54.6%	14.1%	13.4%	9.1%	7.8%	1.0%
住之江	60.5%	12.7%	11.3%	8.8%	5.1%	1.5%	53.4%	12.3%	13.7%	10.9%	7.8%	1.8%

表7 夏にインが強くなる場ベスト6

順位	場名	上昇
1	鳴門	4.7%
2	常滑	2.3%
3	江戸川	1.7%
4	桐生	1.3%
5	戸田	1.1%
6	蒲郡	0.7%

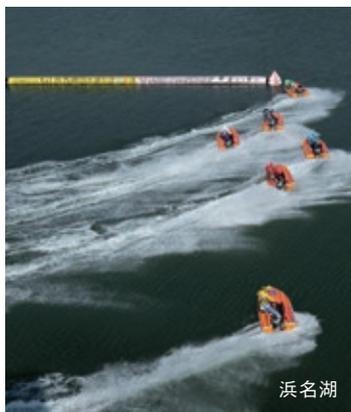


鳴門

夏の住之江はイン過信禁物
ここからはレース場ごとの傾向をみていこう。まず舟券の重要なカギを握るインコースについて。基本的にはイン信頼度が下がる夏だが、極端な傾向を示すのが淡水場。なかでも住之江は7・1%もイン1着率が下がることがわかった。夏の住之江は無風か向かい風。風がない時にはインが軸になるが、注目は向かい風が吹いている時。3コースや4コースといった仕掛けるコースの攻撃が届き、まくり一撃が狙い目となる。特に気温が高い前半レースは波乱が起きやすいので、穴党は要注目だ。津や多摩川も3%以上イン信頼度が下がり、ほぼ50%になる。普

表8 夏にインが弱くなる場ワースト6

順位	場名	上昇
19	浜名湖	-2.9%
20	下関	-3.0%
20	平和島	-3.0%
22	多摩川	-3.5%
23	津	-4.9%
24	住之江	-7.1%



浜名湖

段、イン信頼度が高い印象がある津は特に注意が必要だ。逆に夏場にインが強くなる場もいくつかある。それが鳴門、常滑、江戸川の海水場だ。なかでも鳴門は46・7%が51・4%までアップする。年間を通して好配当が乱舞する場ではあるが、夏場は本命も少し視野に入りたい。その一方で、イン最強水面として名高い徳山や大村はほぼ横ばい。ちよつとやそつとのことではインの牙城は崩せないようだ。ただ、大村はモーターボート誕生祭(7月20日)まで新燃料が使用される。びわこではダッシュの伸びが光ったが、大村での影響が気になるところだ。



夏の灼熱舟券

センター一撃を狙うなら淡水場 夏場の児島は大外にお宝発見!

表9 場別コース別季節別1着率比較(ウエスタンエリア)

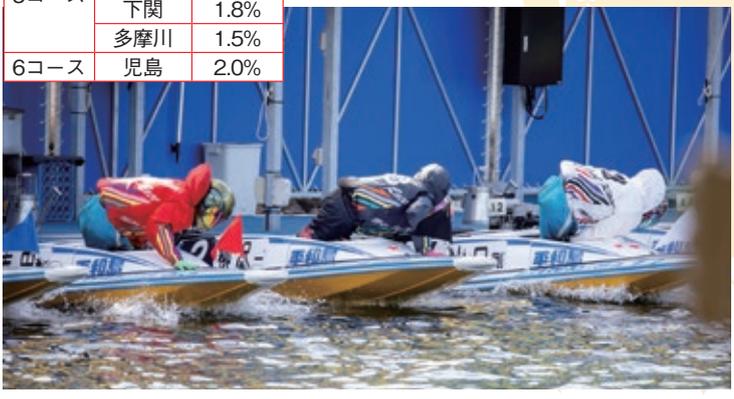
場名	年間1着率(24/6/1 ~ 25/5/30)						夏季1着率(24/7/1 ~ 9/30)					
	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
尼崎	59.3%	11.5%	12.4%	9.3%	5.8%	1.6%	58.0%	8.5%	12.6%	11.5%	6.8%	2.5%
鳴門	46.7%	15.6%	15.3%	12.7%	7.8%	2.2%	51.4%	13.6%	13.4%	13.3%	6.2%	2.1%
丸亀	57.4%	14.1%	12.2%	9.3%	5.4%	1.6%	57.4%	14.8%	11.5%	9.4%	5.7%	1.1%
児島	56.3%	13.7%	12.1%	10.0%	5.8%	2.2%	55.0%	12.3%	12.1%	9.3%	7.1%	4.2%
宮島	54.2%	13.0%	12.6%	10.4%	7.9%	2.0%	53.2%	12.8%	13.1%	10.6%	8.2%	2.4%
徳山	63.2%	14.3%	8.9%	8.3%	4.3%	0.9%	63.8%	14.0%	8.9%	9.0%	3.8%	0.4%
下関	60.1%	11.4%	11.5%	8.9%	5.7%	2.4%	57.1%	11.3%	12.5%	9.4%	7.5%	2.2%
若松	57.9%	11.9%	12.0%	9.5%	6.6%	2.2%	57.3%	12.5%	12.9%	9.4%	6.5%	1.6%
芦屋	59.2%	9.7%	10.2%	12.3%	6.3%	2.3%	58.7%	8.3%	12.6%	11.9%	6.8%	1.8%
福岡	57.0%	14.6%	15.1%	8.2%	4.2%	1.0%	55.7%	15.9%	15.7%	7.7%	4.4%	0.9%
唐津	55.2%	15.3%	11.8%	10.7%	5.2%	1.7%	52.4%	15.7%	11.4%	11.0%	7.8%	1.7%
大村	62.5%	13.0%	10.2%	8.5%	4.4%	1.4%	61.1%	13.1%	9.3%	10.3%	4.3%	1.6%

表10 夏場に強化が目立つイン以外のコース

コース	場名	上昇
2コース	平和島	2.9%
	芦屋	2.4%
3コース	住之江	2.4%
	津	1.9%
4コース	多摩川	3.1%
	津	2.4%
	尼崎	2.2%
	住之江	2.1%
	大村	1.8%
5コース	戸田	1.8%
	住之江	2.7%
	唐津	2.6%
6コース	下関	1.8%
	多摩川	1.5%
児島	2.0%	

最も夏場に台頭するのがカドが見込まれる4コース。多摩川、津、尼崎、住之江、大村、戸田が1・8%以上の上昇が見られる。大村を除いて軒並み淡水場が名を連ねている。ここでも夏場の淡水場はイン信頼度が下がり、攻めるコースが有利というデータを裏付けている。

夏に2コースが強くなる平和島



多摩川のカドを狙える夏
ではイン以外で夏場に強くなるコースを見ていこう。まず2コース、なんといっても平和島だ。元々年間を通じて17・1%と戸田、江戸川に次ぐ3位の高勝率を誇るが、これが夏場になったら約3%アップし、20・0%と大台に乗り、全国トップになる。インの1着率が年間では44・0%だが、夏場はそれが41・0%まで下がる。この下がった分が、そのまま2コースに移行した形と言える。
3コースは福岡の15・7%が全国1位だが、夏の上昇幅としてはほとんどない。その点では芦屋、住之江、津が2%前後上がっている。いずれも淡水場で、夏場はインが苦しむ。その分、攻めが有効なようだ。

5コースも上昇幅においては4コース同様、淡水場が目立つが、そもそもの1着率としては浜名湖や宮島といった汽水・海水場がワントウを占める。特に浜名湖はまくり差し水面として有名な場で、夏場は5コースの1着率を上げて全国トップに。逆に年間では全国トップクラスの平和島や鳴門は夏場に5コースの成績が下がっている。
どこも苦戦必至の大外だが、児島だけは夏場に2%もアップさせ、4・2%の1着率。なんと24レースに1回は1着になるという割合で、2日に1回は大外の一撃が決まるということ。これ狙わない手はない!



季節風がレース傾向を決める 夏でも逃げが増える理由

表11 夏の風向件数と決まり手(24/7/1 ~ 9/30)

	風向				決まり手				
	無風	追い風	向かい風	横風	逃げ	まくり	まくり差し	差し	抜き
桐生	11.3%	31.1%	7.4%	50.2%	49.9%	17.2%	12.1%	14.4%	5.1%
戸田	21.4%	13.3%	43.2%	22.1%	42.1%	24.8%	11.3%	14.4%	6.3%
江戸川	0.0%	58.8%	25.5%	15.7%	47.8%	17.3%	8.0%	15.9%	9.4%
平和島	2.0%	78.2%	14.6%	5.2%	38.4%	17.4%	14.9%	22.9%	5.5%
多摩川	6.4%	26.3%	18.8%	48.5%	48.0%	16.1%	14.0%	13.7%	7.4%
浜名湖	1.0%	4.0%	78.8%	16.2%	45.4%	14.1%	18.5%	12.5%	8.3%
蒲郡	1.8%	13.9%	57.2%	27.1%	56.5%	16.9%	12.5%	7.5%	5.4%
常滑	1.1%	26.4%	53.7%	18.8%	59.4%	15.4%	9.7%	9.9%	4.5%
津	3.8%	72.5%	22.7%	1.0%	48.2%	12.9%	14.4%	15.6%	7.5%
三国	2.7%	43.5%	28.5%	25.3%	50.3%	13.7%	8.8%	17.2%	8.5%
びわこ	1.2%	55.0%	32.1%	11.7%	52.5%	13.0%	14.9%	14.4%	4.7%
住之江	39.6%	18.8%	41.6%	0.0%	50.7%	15.5%	14.8%	10.0%	7.6%
尼崎	3.7%	10.5%	70.7%	15.1%	55.8%	15.8%	13.6%	8.3%	6.0%
鳴門	6.0%	36.5%	57.5%	0.0%	48.2%	15.2%	14.2%	13.3%	8.7%
丸亀	0.0%	23.9%	48.0%	28.1%	54.3%	10.4%	12.2%	16.0%	5.8%
児島	1.2%	19.0%	79.8%	0.0%	52.2%	12.5%	15.9%	11.9%	6.0%
宮島	3.2%	30.4%	65.8%	0.6%	49.5%	19.9%	13.8%	9.9%	6.1%
徳山	0.0%	55.8%	8.2%	36.0%	61.0%	11.3%	6.8%	12.3%	8.1%
下関	0.2%	46.1%	34.3%	19.4%	54.2%	12.8%	13.3%	10.5%	7.7%
若松	0.3%	54.3%	18.6%	26.8%	52.9%	14.5%	10.3%	12.9%	8.6%
芦屋	0.3%	29.0%	37.3%	33.4%	55.3%	12.2%	15.6%	9.5%	6.5%
福岡	0.0%	8.8%	7.5%	83.7%	51.7%	14.9%	7.9%	15.3%	9.7%
唐津	3.1%	42.8%	43.0%	11.1%	49.1%	15.0%	12.4%	14.1%	8.8%
大村	4.2%	33.0%	25.3%	37.5%	58.7%	10.5%	8.5%	13.5%	7.3%

風セオリー重視が正解

本来、夏はあまり風が吹かないが、ここ数年は台風も来ていないのに安定板がつくことも珍しくなくなった。2m以下の微風であれば気にする必要は全くないが、3mを超えてくるとレース傾向に微

妙な変化を与えてくる。それが5mを超えるようなら、風のセオリーに添った逃げ以外が狙い目になる。夏場に限らず、無風というのは徳山、福岡では昨夏1件も出現しなかった。逆に無風が最も多いの

は住之江で、夏場はイン信頼度が下がるというセオリーとは反対の現象も起きている。

追い風の割合が50%を超えているのが江戸川、平和島、津、びわこ、徳山、若松。そのなかで差しの割合が15%を超えるのが江戸川、平和島、津。この3場は夏の差し水面として覚えておきたいところ。ほかにも三国、丸亀、徳山、福岡、唐津など元々差しの割合が高い水面も率そのものは高めなので、風向きを気にしながら狙ってみよう。

向かい風が多いのは浜名湖、蒲郡、常滑、尼崎、鳴門、児島、宮島。基本的にはまくり風だが、スピードを持った旋回が可能になるため、イン逃げにも有利な風ではある。24ページで夏にインが強くなるレース場の上位に入った鳴門や常滑、戸田、蒲郡も向かい風の割合が高く、イン逃げをアシストしている。

日本一横風が吹く福岡



夏の灼熱舟券

夏に強い選手を探せ! 女子が躍動する夏

表12 夏が得意な選手ベスト20

順	登番	選手名	支部	級	夏勝率	年間勝率	差
1	4385	鈴木祐美子	三重	B1	5.30	3.95	1.35
2	4499	滝川真由子	長崎	B1	6.75	5.46	1.29
3	3232	山川美由紀	香川	B1	7.44	6.18	1.26
4	4246	喜多那由夏	静岡	B1	5.46	4.34	1.12
5	4435	服部 達哉	愛知	B1	6.31	5.21	1.10
6	4371	西山 貴浩	福岡	A1	8.39	7.30	1.09
7	4045	佐々木裕美	山口	B1	6.22	5.18	1.04
8	4138	中井 俊祐	大阪	B1	5.93	4.93	1.00
8	5106	山崎 祥	山口	B1	5.64	4.64	1.00
10	4812	西野 雄貴	徳島	A2	7.58	6.61	0.97
11	3562	山下 和彦	広島	A2	6.93	5.97	0.96
11	4790	柳内 敬太	兵庫	A2	7.07	6.11	0.96
13	3778	安達 美帆	埼玉	B1	4.80	3.86	0.94
14	3994	小野 桜	滋賀	B1	6.19	5.29	0.90
15	5046	松山 裕基	大阪	B1	4.79	3.90	0.89
16	3350	藤本 佳史	山口	B1	5.98	5.10	0.88
16	3568	木村 光宏	香川	B1	5.42	4.54	0.88
16	4081	樋口 範政	愛知	B1	5.06	4.18	0.88
19	3932	池田 浩美	静岡	B1	5.79	4.92	0.87
19	5286	坂井 滉哉	福岡	B1	4.96	4.09	0.87

表13 夏が苦手な選手ワースト20

順	登番	選手名	支部	級	勝率	年間勝率	差
1	5193	米丸 乃絵	福岡	A2	3.32	5.36	-2.04
2	3933	山地 正樹	岡山	B1	2.87	4.44	-1.57
3	4765	野田部宏子	福岡	B1	3.57	4.96	-1.39
4	5273	山下 拓巳	兵庫	B1	2.49	3.85	-1.36
5	4230	濱崎 直矢	埼玉	A1	5.71	7.00	-1.29
5	4411	沢田 昭宏	大阪	A2	3.98	5.27	-1.29
7	5076	石原 光	静岡	B1	3.44	4.72	-1.28
8	5264	登 みひ果	兵庫	B1	2.85	4.08	-1.23
9	5272	松田 真実	愛知	B1	1.98	3.15	-1.17
10	5093	浦野 海	福岡	A2	4.00	5.16	-1.16
11	3931	黒崎 竜也	三重	B2	4.13	5.28	-1.15
12	4578	藤山 雅弘	大阪	A2	4.57	5.68	-1.11
12	5276	大島隆乃介	福岡	B1	3.66	4.77	-1.11
14	5135	仲 航太	東京	A2	4.27	5.37	-1.10
15	3692	竹腰 正樹	福井	B1	3.76	4.85	-1.09
16	3362	間嶋 仁志	三重	A2	4.44	5.49	-1.05
16	4938	小芦りり華	佐賀	A2	4.50	5.55	-1.05
18	5319	近藤 颯斗	愛知	B1	2.21	3.24	-1.03
18	4652	酒見 峻介	佐賀	A2	4.99	6.02	-1.03
20	3463	乙津 康志	東京	B1	3.80	4.80	-1.00

(夏: 24/7/1 ~ 9/30、年間: 24/6/1 ~ 25/5/31) ※夏の出走回数30回以上 ※級は25年後期

得意の夏、若松メモリアルに大期待の西山貴浩



表14 夏にSG・GIを優勝した選手ベスト5

順	登番	選手名	回数
1	4320	峰 竜太	4
2	4502	遠藤 エミ	3
2	4262	馬場 貴也	3
2	4238	毒島 誠	3
2	3590	濱野谷憲吾	3

フライイングによるもの、登みひ果や松田真実はこの後に急成長を遂げたためだろう。このほか、山地正樹や間嶋仁志などコースを動く選手や、黒崎竜也、藤山雅弘、酒見俊介など伸びに特徴を持たせる選手が見られ、個性派が苦勞している感が見られる。

その一方、得意な選手部門にA1級で唯一ランクインしたのが西山貴浩。今年は地元若松でメモリアルの開催も控えており、最高の夏になるかもしれない。

表14は過去5年の夏の間にGII以上を優勝した回数。筆頭は20年オーシャンカップを制した峰竜太だが、5年で3度もレディースチャンピオンを勝った遠藤エミの実績もさすがだ。

歴代女王に復調の期待

夏に強い選手と苦手になっている選手をピックアップしている。得意な選手を見ると、7位までに女子選手が5人ランクイン。滝川真由子や山川美由紀は夏のレディースチャンピオンを制した実績もあり、まさに「夏女」という感じ。ただ苦手になっている選手の中にも女子選手が多い。しかしこちらは、米丸乃絵や野田部宏子は